



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月11日

上場会社名 株式会社チノ一 上場取引所 東  
 コード番号 6850 URL https://www.chino.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 豊田三喜男  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営管理本部長 (氏名) 大森一正 TEL 03-3956-2115  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	9,314	2.5	99	△13.1	160	△76.2	536	△10.5
2020年3月期第2四半期	9,089	△8.7	114	△78.6	675	13.9	598	69.3

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 676百万円 (69.8%) 2020年3月期第2四半期 398百万円 (△22.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	63.31	—
2020年3月期第2四半期	70.70	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	28,218	18,369	55.4	1,845.29
2020年3月期	26,708	16,318	57.6	1,815.33

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 15,630百万円 2020年3月期 15,377百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

### 3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,200	△1.9	880	△14.3	950	△43.6	990	△18.7	116.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	9,260,116株	2020年3月期	9,260,116株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	789,551株	2020年3月期	789,236株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	8,470,769株	2020年3月期2Q	8,471,523株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

第2四半期決算補足説明資料は、後日当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) キャッシュ・フローに関する説明 .....	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の経済環境は、以前から続く米中貿易摩擦の影響に加え、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響により、世界経済、日本経済ともに大きく悪化しました。外出制限等の解除後は、停滞していた経済活動が徐々に再開に向かい、日本国内の景況感は緩やかに回復しつつあるものの、感染症の影響が長期化する中で、先行きは依然不透明な状況が続いています。

このような状況のなか、当社グループの製品のうち、体表面温度発熱監視カメラや体表面温度チェッカ等の需要が、新型コロナウイルス感染症対策として高まり、生産・販売体制を強化することで対応いたしました。しかしながら事業全般としては、主要顧客である自動車関連や電子部品関連向けにおいて設備投資に慎重な姿勢が継続し、厳しい受注環境となりました。

海外事業に関しましても、各国の経済活動の停滞に加えて、中国の子会社(12月決算会社)が2月に稼働停止した後に通常稼働に回復したものの、インドの子会社が断続的に稼働停止を余儀なくされる等、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けて低調に推移しました。

今後は経済状況の回復に合わせて、社会・企業のデジタルトランスフォーメーション等で成長が見込まれる半導体・電子部品関連向けや、生産の回復が期待される自動車関連の生産設備向け等を中心に当社グループの事業拡大に注力してまいります。

また、お客様、お取引先様および社員の新型コロナウイルス感染症の感染リスク軽減のため、Web会議やリモートワークの活用を拡大するとともに、感染症拡大の影響を踏まえて、経費削減、不急の設備投資の見直し、業務の合理化など企業体質の強化を継続してまいります。

当第2四半期連結累計期間の受注高は、10,367百万円(前年同四半期比3.6%減)となり、売上高は9,314百万円(前年同四半期比2.5%増)となりました。利益面につきましては、営業利益99百万円(前年同四半期比13.1%減)、経常利益160百万円(前年同四半期比76.2%減)、明陽電機株式会社の連結子会社化に伴い特別利益として負ののれん発生益557百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益536百万円(前年同四半期比10.5%減)となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

#### ①計測制御機器

売上高は3,216百万円(前年同四半期比7.1%減)、セグメント利益(営業利益)は374百万円(前年同四半期比18.8%減)となりました。主力製品である記録計、調節計、サイリスタレギュレータがいずれも、国内外の主要顧客の設備投資の先送り、規模縮小の動きがあり、当セグメント全体の売上高、利益は前年同期比で減少となりました。体表面温度チェッカ等の民生用製品については、新型コロナウイルス対策の需要増に対応し堅調でした。

#### ②計装システム

売上高は2,631百万円(前年同四半期比15.9%減)、セグメント利益(営業利益)は25百万円(前年同四半期比75.6%減)となりました。電子部品関連の製造装置向けは前年度からの需要減が続いており、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた自動車関連では、燃料電池試験装置やエアコンのコンプレッサ評価試験装置の売上が減少しました。一方で、工場監視用のIoTソリューションやデータの電子記録化が進んでいる医薬品等の温湿度管理システムについては需要が拡大しています。

#### ③センサ

売上高は3,067百万円(前年同四半期比47.8%増)、セグメント利益(営業利益)は393百万円(前年同四半期比62.2%増)となりました。明陽電機株式会社(当期より連結子会社化)の売上が、船用市場を中心に堅調に推移していることを主因して前年同期比増収となりました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、放射温度計や温度センサは、鉄鋼や熱処理関連の需要は厳しい状況にありますが、安全監視用途や中国における製造装置向けには好調です。体表面温度発熱監視カメラは感染症対策の需要増に対応しておりますが、新たなシステム提案による新規需要の開拓を継続します。

#### ④その他

売上高は397百万円(前年同四半期比5.8%減)で、セグメント利益(営業利益)は93百万円(前年同四半期比5.9%減)となりました。

(参考) セグメント別の受注実績及び売上実績ならびに営業利益実績

受注実績 (セグメント別)

(単位: 千円)

セグメントの名称	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減 (金額)	増減 (比率) (%)
計測制御機器	3,535,794	3,078,762	△457,031	△12.9
計装システム	4,586,468	3,135,165	△1,451,302	△31.6
センサ	2,285,327	3,823,616	1,538,288	67.3
その他	341,930	330,221	△11,708	△3.4
合計	10,749,520	10,367,766	△381,753	△3.6

売上実績 (セグメント別)

(単位: 千円)

セグメントの名称	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減 (金額)	増減 (比率) (%)
計測制御機器	3,463,009	3,216,550	△246,458	△7.1
計装システム	3,128,730	2,631,802	△496,928	△15.9
センサ	2,075,833	3,067,713	991,880	47.8
その他	422,278	397,982	△24,296	△5.8
合計	9,089,852	9,314,048	224,196	2.5

売上実績 (地域別)

(単位: 千円)

セグメントの名称	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減 (金額)	増減 (比率) (%)
日本	7,186,596	7,814,554	627,958	8.7
アジア	1,662,065	1,342,328	△319,737	△19.2
北米	140,397	111,637	△28,760	△20.5
欧州	68,589	36,418	△32,171	△46.9
その他	32,205	9,111	△23,094	△71.7
合計	9,089,852	9,314,048	224,196	2.5

営業利益実績 (セグメント別)

(単位: 千円)

セグメントの名称	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減 (金額)	増減 (比率) (%)
計測制御機器	460,529	374,058	△86,471	△18.8
計装システム	105,289	25,743	△79,546	△75.6
センサ	242,709	393,570	150,861	62.2
その他	99,734	93,861	△5,873	△5.9
全社費用 (注)	△793,959	△787,858	6,101	—
合計	114,303	99,375	△14,928	△13.1

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期期末は、明陽電機株式会社の子会社化を主因として資産、純資産が増加しました。

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,510百万円増加し、28,218百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,311百万円増加し、18,733百万円となりました。主な増減は、現金及び預金の増加1,501百万円、たな卸資産の増加998百万円、売上債権の減少999百万円等であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ198百万円増加し、9,484百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて539百万円減少し、9,849百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ465百万円減少し、6,598百万円となりました。主な要因は仕入債務の減少458百万円等であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ74百万円減少し3,251百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,050百万円増加し、18,369百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは前年同四半期の435百万円の収入と比べ509百万円増加し945百万円の収入となりました。税金等調整前四半期純利益は706百万円で、売上債権の減少1,888百万円等が主な増加要因となりました。一方、減少要因は、仕入債務の減少882百万円、負ののれん発生益557百万円等であります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは前年同四半期は890百万円の支出でしたが、当四半期は261百万円の収入となりました。増加要因は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入1,082百万円等、減少要因は、有形固定資産、無形固定資産の取得による支出672百万円等であります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは前年同四半期の1,175百万円の支出と比べ408百万円減少し767百万円の支出となりました。これは短期借入金の純減額100百万円、長期借入金の返済による支出212百万円、配当金の支払額379百万円等によるものであります。

これらの結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は前連結会計年度末4,800百万円に比べ396百万円増加し、5,197百万円となりました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期（2020年4月1日～2021年3月31日）の連結業績予想及び配当予想につきましては、本日開示しております「通期業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,650,885	6,152,353
受取手形及び売掛金	5,783,762	4,529,968
電子記録債権	1,544,056	1,798,673
有価証券	150,000	—
商品及び製品	712,932	773,832
仕掛品	2,002,352	2,380,402
原材料及び貯蔵品	2,277,153	2,837,030
その他	305,546	263,961
貸倒引当金	△4,759	△2,341
流動資産合計	17,421,931	18,733,881
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,476,258	3,135,870
その他	2,281,264	2,612,153
有形固定資産合計	4,757,522	5,748,024
無形固定資産		
その他	327,934	312,035
無形固定資産合計	327,934	312,035
投資その他の資産		
その他	4,249,164	3,468,868
貸倒引当金	△48,258	△44,044
投資その他の資産合計	4,200,905	3,424,823
固定資産合計	9,286,362	9,484,883
資産合計	26,708,293	28,218,764

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,027,398	1,542,479
電子記録債務	1,822,960	1,849,737
短期借入金	1,194,200	1,344,000
1年内返済予定の長期借入金	380,476	329,992
未払法人税等	125,024	219,461
賞与引当金	531,244	471,897
設備関係電子記録債務	121,248	12,877
その他	860,506	827,612
流動負債合計	7,063,059	6,598,057
固定負債		
長期借入金	1,260,009	1,115,364
退職給付に係る負債	1,354,989	1,358,915
役員退職慰労引当金	397,837	438,801
その他	313,402	338,322
固定負債合計	3,326,238	3,251,403
負債合計	10,389,297	9,849,461
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,292,027	4,292,027
資本剰余金	4,053,230	4,053,230
利益剰余金	8,312,042	8,458,992
自己株式	△1,156,560	△1,156,987
株主資本合計	15,500,739	15,647,263
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	101,445	232,682
為替換算調整勘定	△23,174	△63,653
退職給付に係る調整累計額	△201,547	△185,684
その他の包括利益累計額合計	△123,276	△16,656
非支配株主持分	941,533	2,738,696
純資産合計	16,318,996	18,369,303
負債純資産合計	26,708,293	28,218,764



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	9,089,852	9,314,048
売上原価	6,325,072	6,688,755
売上総利益	2,764,779	2,625,293
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	974,130	1,033,754
賞与引当金繰入額	177,909	146,869
退職給付費用	61,349	75,759
役員退職慰労引当金繰入額	36,928	33,604
研究開発費	312,171	270,295
その他	1,087,986	965,634
販売費及び一般管理費合計	2,650,475	2,525,918
営業利益	114,303	99,375
営業外収益		
受取利息	8,411	4,714
受取配当金	25,601	28,285
売電収入	25,140	23,311
持分法による投資利益	535,556	—
その他	14,492	54,453
営業外収益合計	609,202	110,765
営業外費用		
支払利息	5,146	5,898
金融関係手数料	3,890	3,456
売電費用	10,087	8,959
為替差損	17,997	19,376
その他	10,702	11,551
営業外費用合計	47,824	49,242
経常利益	675,681	160,898
特別利益		
固定資産売却益	3,468	222
負ののれん発生益	—	557,005
特別利益合計	3,468	557,228
特別損失		
固定資産処分損	6,604	2,917
投資有価証券評価損	—	7,688
段階取得に係る差損	—	1,030
特別損失合計	6,604	11,636
税金等調整前四半期純利益	672,545	706,489
法人税等	71,053	97,387
四半期純利益	601,492	609,102
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,567	72,811
親会社株主に帰属する四半期純利益	598,924	536,290

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	601,492	609,102
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△111,198	130,676
為替換算調整勘定	△94,480	△78,864
退職給付に係る調整額	3,252	15,863
持分法適用会社に対する持分相当額	△420	—
その他の包括利益合計	△202,846	67,675
四半期包括利益	398,646	676,777
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	436,766	642,911
非支配株主に係る四半期包括利益	△38,120	33,866

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	672,545	706,489
減価償却費	416,858	423,195
のれん償却額	15,157	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6,400	△6,632
受取利息及び受取配当金	△34,012	△32,999
支払利息	5,146	5,898
売上債権の増減額 (△は増加)	1,994,422	1,888,943
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△373,580	△309,981
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,237,486	△882,002
段階取得に係る差損益 (△は益)	—	1,030
負ののれん発生益	—	△557,005
その他	△748,694	△273,278
小計	703,954	963,657
利息及び配当金の受取額	34,647	32,999
利息の支払額	△5,146	△5,898
法人税等の支払額	△297,648	△45,134
営業活動によるキャッシュ・フロー	435,807	945,624
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△558,719	△622,363
無形固定資産の取得による支出	△10,782	△50,122
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△210,796	—
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	200,000	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	1,082,790
保険積立金の積立による支出	△38,343	△48,561
保険積立金の払戻による収入	8,357	63,689
関係会社株式の取得による支出	△291,600	—
その他	11,337	△163,676
投資活動によるキャッシュ・フロー	△890,547	261,755
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△497,970	△100,000
長期借入金の返済による支出	△211,446	△212,976
自己株式の取得による支出	△816	△426
配当金の支払額	△380,002	△379,982
非支配株主への配当金の支払額	△85,598	△74,293
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,175,834	△767,678
現金及び現金同等物に係る換算差額	△53,187	△43,323
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,683,761	396,378
現金及び現金同等物の期首残高	5,463,359	4,800,885
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,779,597	5,197,264

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	計測制御 機器	計装 システム	センサ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,463,009	3,128,730	2,075,833	8,667,573	422,278	9,089,852
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,463,009	3,128,730	2,075,833	8,667,573	422,278	9,089,852
セグメント利益	460,529	105,289	242,709	808,528	99,734	908,263

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、修理・サービス等を含んでおりません。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	808,528
「その他」の区分の利益	99,734
全社費用(注)	△793,959
四半期連結損益計算書の営業利益	114,303

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	計測制御 機器	計装 システム	センサ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,216,550	2,631,802	3,067,713	8,916,066	397,982	9,314,048
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,216,550	2,631,802	3,067,713	8,916,066	397,982	9,314,048
セグメント利益	374,058	25,743	393,570	793,371	93,861	887,233

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、修理・サービス等を含んでおりません。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	793,371
「その他」の区分の利益	93,861
全社費用(注)	△787,858
四半期連結損益計算書の営業利益	99,375

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「センサ」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間に明陽電機株式会社の株式を追加取得し、持分法適用関連会社から連結子会社としたことにより、負ののれん発生益557,005千円を計上しております。また、株式の追加取得時において段階取得に係る差損1,030千円を合わせて計上しております。

なお、当該負ののれん発生益等は報告セグメントには配分しておりません。